

令和8年度

事業計画書

公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団

目 次

1	令和8年度 事業運営の基本方針	2
2	事業の概要	4
3	事業計画	
	スポーツ事業	7
	芸術文化事業	
	音楽部門	12
	演劇部門	17
	美術部門	20
	文芸部門	23
	その他芸術文化部門	29
	生涯学習事業	30
	広報宣伝・友の会事業	33
	施設管理・全館融合事業	34
4	組織図	36

令和8年度 事業運営の基本方針

1 スポーツ事業

- (1) 誰もが身近にスポーツを楽しめるように、スポーツ教室、施設貸出しを通じて、市民一人ひとりがライフステージに応じた目的や目標を持って多様なスポーツ活動に親しむ機会を提供し、スポーツ実施率の向上を図ります。
- (2) スポーツの情報発信を充実させるとともに、様々なスポーツ活動を支える指導者やボランティアの人財育成と支援に努め、市民の活躍の場を創出します。
- (3) 市民の健康保持や健康増進、介護予防のため、運動習慣の定着、スポーツを通じた健康づくり事業を実施します。
- (4) スポーツ団体、事業者との連携・協力により、市民満足度の向上と市民の利用促進につながる事業を展開します。
- (5) 三鷹市と連携しながら、パラスポーツの普及や魅力の発信を行うとともに、障がいに対する理解を広めるインクルーシブ事業を実施します。

※インクルーシブ事業：障がいの有無、国籍、年齢などに関係なく、多様性を認め合い、全ての人が尊重し合って自然に支え合える事業

2 芸術文化事業

- (1) 地域や施設の特性を踏まえたオリジナリティのある公演事業や展示事業を企画し、市民の皆様に国内外の優れた芸術文化に親しみ、鑑賞する機会を提供します。
- (2) 市民の自主的な芸術文化活動の場として施設を貸し出し、その活動を支援するための適正な施設運営に努めます。
- (3) 市民が安全・安心・快適に芸術文化施設を利用することができるよう、施設・設備の予防的、計画的な点検と改修を実施します。
- (4) 次代を担う子供たちに芸術文化の楽しさや素晴らしさを体験する機会を提供することにより、児童・青少年の健全な育成に取り組み、地域の学校と連携を図ります。
- (5) 三鷹ゆかりの作家や作品の顕彰事業を推進することにより「文化の薫り高いまち三鷹」を発信します。
- (6) 年齢、文化の違い、障がいの有無等にかかわらず、誰もが気軽に様々な手法で、多様な芸術文化に触れられる機会を提供し、積極的に教育普及事業を実施します。

3 生涯学習事業

- (1) 市民一人ひとりのライフスタイルやライフステージに沿った学習機会を充実させるため、生涯学習情報の提供、学習相談、学びを支援するコーディネート機能の充実を図ります。
- (2) 多様化・高度化する市民ニーズに対応した講座を開催し、市民満足度の向上を目指します。
- (3) 市民の主体的な生涯学習活動を支援するとともに、障がい者、子育て中の市民など学習困難な方々への学習機会を支援します。

- (4) 三鷹市芸術文化協会、生涯学習事業者との連携を図りながら多彩な事業を展開します。
- (5) 生涯学習ボランティアを育成するとともに、市民が学習成果を地域に還元する「学びと活動の循環」を構築し、人とのつながりを創出します。

事業の概要

設立 30 周年を経て迎える令和 8 年度は、これまでに培ってきた成果と信頼を礎に、次の時代に向けた新たな一步を踏み出す年度となります。市民や地域、関係機関との協働を一層深めながら、スポーツ・芸術文化・生涯学習を通じて、市民生活に活力と豊かさをもたらす魅力ある事業を引き続き実施していきます。

スポーツ事業では、市民のニーズを的確にとらえ、誰もが気軽に参加できる事業を実施し、生涯にわたり健やかなスポーツライフを過ごせるよう支援していきます。働き世代、子育て世代、高齢世代、次世代を担う子供など各世代のライフステージとライフスタイルに応じた様々な「スポーツ教室事業」及びバドミントン、卓球等の種目別に個人に施設を貸し出す「個人開放事業」を実施します。また、市民の健康の保持増進、介護予防等のために、専門的な知識・経験を持ったスタッフにより各々に合った運動プログラムを提供する「健康・体力相談事業」など健康づくり事業を充実させます。さらに、三鷹市スポーツ協会、企業、大学等と連携し運動習慣の定着に向けてより多くの市民に運動する機会を提供するとともに、誰もが楽しめるインクルーシブな大会等を運営する「スポーツイベント事業」、「親子野外キャンプ教室」、「障がい者スポーツ教室事業」、「スケートボードエリア利用者講習会事業」などを実施します。

芸術文化事業の各部門では、各文化施設においてオリジナリティのある事業を展開することにより、「文化の薫り高いまち・三鷹」を目指して芸術文化の振興に努めていきます。

音楽部門では、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニアをはじめとする国内外トップクラスの演奏家・演奏団体に加え、今後の活躍が期待される若手やジャンルや時代の垣根なく独自の演奏活動を展開するアーティストによる公演を開催し、多様な音楽に触れられる機会を充実させます。また知的好奇心をかき立てるようなワークショップも実施します。みたかジュニア・オーケストラは、新しい指揮者を迎え、演奏技術の向上と活動の充実を図るとともに、団員募集に力を入れていきます。令和 8 年度は、国際基督教大学 (ICU) 礼拝堂での演奏会を予定しています。また、市内公立小学校全校への訪問演奏 (三鷹市教育委員会からの受託事業) や未就学の子供と家族を対象としたファミリーコンサートを実施し、幼い頃から音楽に親しめる環境作りに努めます。

演劇部門では、若手劇団の登竜門として定着しつつある MITAKA “Next” Selection をはじめ、今後の活躍が期待される劇団による、三鷹だけでしか見られない、見応えのある演劇企画を実施します。また、今年も三鷹市ゆかりの作家太宰治を偲び太宰治朗読会を予定しています。映画事業では、今年生誕 100 周年を迎える 2 人の映画人、今村昌平監督と俳優・佐田啓二の 2 人を取り上げ、特集を組みます。さらに、親しみやすい伝統芸能として多くの集客を得ている落語公演・狂言公演では、人気も実力も兼ね備えた落語家・狂言師による公演を開催します。

美術部門では、絵本作家を含む現存作家3人を取り上げる「物語のかけらを見つけに展」と、「路上」の日本画：ジミー・ツトム・ミリキタニのアート展」の2展示事業を実施します。後者はニューヨークで路上生活をおくりながら、多くの作品を描いた帰米日系3世の作家に焦点を当てた展覧会です。いずれもアートの多様性に触れるテーマのなかで、作品を通して他者への理解を深める場を提供します。また、三鷹市教育委員会やNPO団体との連携を図り、教育普及事業の充実に努めます。令和6年度から実施している「アール・ブリュットみたか」を、令和8年度も開催します。実行委員会形式で行いますが、財団は事務局を担います。

文芸部門では、約1年間改修工事のため閉館している三鷹市山本有三記念館が、令和8年4月に開館する予定です。開館後には、戯曲・小説の両分野に代表作を持つ有三作品について紹介する企画展を開催します。このほか、開館30周年を記念した建物の歴史を解説する企画展、有三の生誕140周年を記念した大正時代初期の創作に注目する企画展を開催します。ガイドボランティア事業では、ガイドのスキル向上・維持のため、見学会や研修会を行います。また、完売の復刊本『波』を再製作し、今後の企画展との連動につなげます。教育普及事業では、子供を対象とする「おはなし会」やワークショップ、建物探検イベントを実施します。また、「スケッチコンテスト」や館内での「アフタヌーン・ミニコンサート」、「春の朗読コンサート」、「秋の朗読会」の開催により普及・啓発に努めます。太宰治文学サロンでは、来館者がコーヒー等を飲みながら「山内祥史文庫」や寄贈書籍を閲覧できるブックカフェとしてのスペースを提供するほか、太宰治作品朗読会を毎月開催します。太宰治展示室「三鷹の此の小さい家」では、個人収集家の秘蔵資料の公開をはじめ、市が購入した太宰治直筆原稿「雀」の展示など、疎開期間に焦点を当てた展示を、青森県五所川原市にある関連施設と連携して開催します。さらに、太宰治の魅力を発掘する読書感想会の開催や、三鷹に太宰治の愛好者が集う「桜桃忌」に企画展示関連イベントを実施するなど、「太宰が生きたまち三鷹」を発信します。みたか井心亭では、「茶道・華道体験教室」及び「井心亭でお茶を楽しむ会」を開催し、日本の伝統文化を体験できる機会を提供します。三鷹市吉村昭書斎では、7月から没後20年・太宰治賞受賞60年に関連して、吉村の太宰治賞受賞作「星への旅」が舞台となった岩手県田野畑村との関係や太宰治賞の関連資料を中心とした企画展示を、翌年1月からは生誕100年記念として、令和7年度に購入した「凧」や「少年の島」の直筆原稿を公開する企画展示を開催します。また、講演会を実施するほか、交流棟では朗読会、落語会を開催し、加えてガイドボランティア事業により来館者サービスの充実に目指します。

生涯学習事業では、年間を通じて実施する市民大学事業をはじめ、みたか学、人財養成講座、趣味・教養講座、小・中学生向けの体験講座を実施し、多くの市民に学習の機会を提供します。特に市民大学事業の総合コースについて、多くの市民に対して学習機会の提供を図るため、定員を上回る申込みのあった講座の実施方法の見直しを検討します。また、令和6年度からスタートした、「子どもふらっとプレイス事業」は、多世代交流を図りながら子供の居場所を創出します。「元気創造プラザ連携講座」では三鷹市健康推進課、社会福

社協議会と連携し、利用者の拡充を図ります。そのほか、生涯学習センターの自主グループが中心となって開催する生涯学習センターフェスティバルで学習成果の発表をサポートする取組を行うことで、「学びと活動の循環」を推進します。

広報宣伝・友の会事業では、情報誌（MARCL+）と広報紙（Mitaka Sports and Culture News）を財団全体の事業を発信する主要な媒体と位置付け、情報発信の充実を図るとともに、ホームページやX（旧ツイッター）、プレスリリースなどを利用した広報活動を行います。また、友の会会員への特典では、公演チケットに関するサービスに加え、引き続きスポーツ教室体験チケットの提供を実施します。

施設管理・全館融合事業においては、設備、備品の適切な維持管理を行い、市民が安心して訪れることができる快適な施設環境を整えるとともに、利用者サービスの向上に継続的に取り組み、施設利用率の向上を目指します。三鷹中央防災公園・元気創造プラザについては、令和7年度に引き続き全館融合事業を実施し、施設全体が相互に連動することで市民にとってさらに使いやすい場所となることを目指します。

<事業分類の説明>

自主事業（定款第4条 第1号事業）

公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団（以下「財団」という。）が、三鷹市等から助成を受け、主体的に企画運営するスポーツ、芸術文化及び生涯学習の振興に資する事業

指定管理事業（定款第4条 第2号事業）

指定管理者の指定を受けた財団が実施するスポーツ施設、文化施設、生涯学習施設及び公園等の管理運営に関する事業

受託事業（定款第4条 第3号事業）

財団が、三鷹市などから委託を受けて行うスポーツ事業、芸術文化事業及び生涯学習事業

<各事業における表記の説明>

新規 …令和8年度に新規に実施する事業

ただし、コンサートや展示などその事業自体が、新規に実施されるものは除く。

スポーツ事業

<令和8年度の特徴>

- ★1 市民の健康増進の更なる推進に向けて、SUBARU総合スポーツセンターをより利用しやすくするため、効果的な運動方法に向けたサポートを行い、利用者の増加を図ります。
- ★2 障がい者と健常者の交流を図り、多様性の尊重や差別の撤廃などを目的としたインクルーシブ事業を推進します。
- ★3 大沢総合グラウンドに新たに設置された拡充エリアについて、安定的かつ安全な管理運営に向けて取り組みます。

自主事業（7事業）

1 トレ室はじめてサポート～健康・体力相談事業～ ★1

健康・体力づくりを支援する専門的な知識・経験を持ったスタッフが、トレーニング室で一人ひとりに合った運動プログラムを提供します。令和7年度に、より親しみやすく事業内容が伝わるよう、事業名を「トレ室はじめてサポート～健康・体力相談事業～」に変更したことで利用者増につながりました。令和8年度は周知・広報等を本格化させ、更なる利用者数の増加を目指します。（予約制）

2 スポーツ教室事業

様々な世代の方を対象に、各自の体力やスキル・レベルの違いに対応したプログラムや介護予防などを目的としたスポーツ教室を実施します。また、ワンコイン（500円）で受講することができる教室を実施します。昨年度に引き続き、運動習慣の定着に向け「三鷹体操」や「みたかダンス」を取り入れるほか、運動能力の向上を目指す屋外スポーツ教室等の充実など、より多くの市民に運動の機会を提供します。各4クール（1クール3か月）

① 定期教室	1クール	100教室	計	400教室
② ワンコイン教室	1クール	18教室	計	72教室
③ パーソナルスイム教室	1クール	18教室	計	72教室
④ 屋外スポーツ教室		6教室	計	6教室

3 地域連携事業

(1) 親子バスケットボール教室（協力：日本無線株式会社）

親子のふれあいや参加者同士の交流の場となることを期待し、親子で参加できるバスケットボール教室を開催します。 1回

(2) 大人のバレーボール教室（協力：日本無線株式会社）

社会人リーグの選手によるトップレベルの指導を通じてスキルアップを目指すバレーボール教室を開催します。また、事業後に行われる社会人リーグ戦の観戦を促し、更なるバレーボールの普及と技術向上に寄与します。 1回

(3) 中学生向けバスケットボールクリニック（協力：日本無線株式会社）

社会人リーグの選手によるトップレベルの指導を通じてスキルアップを目指す中学生向けのバスケットボール教室を開催します。また、事業後に行われる社会人リーグ戦の観戦を促し、更なるバスケットボールの普及と技術向上に寄与します。 1回

(4) 親子野外キャンプ教室（協力：国際基督教大学）

屋外での活動を通じて友だちとの遊びからコミュニケーション能力を育み、体を動かすことの楽しさを体験してもらうことを目的としたキャンプ教室を開催します。 1回



親子野外キャンプ教室

4 三鷹市スポーツ協会等との連携事業

(1) ちびっこ水遊び教室

三鷹市スポーツ協会加盟団体の三鷹市水泳連盟と連携し、就学前の子供の水慣れと親子のコミュニケーションを目的とした水遊び教室を開催します。 1回

(2) 着衣水泳体験教室

衣服を着用した状態で水中ではどれだけ動きが制限されてしまうのかを体験し、どうすれば自分の命を守ることができるかを学ぶ教室を実施します。 2回

(3) インクルーシブすもう体験教室 新規 ★2

障がいのある子供を含めた全ての子供が共に学ぶことを目指し、三鷹市スポーツ協会加盟団体の三鷹市相撲連盟と連携し、初めて相撲を体験する幼児から小学3年生までの親子と小学4年生から6年生までの児童におけるインクルーシブすもう教室を開催します。 1回

5 スポーツを通じた障がい者支援事業

障がい者を対象に定期的なスポーツ教室を開催し、障がい者の社会的自立や活動の場創出に貢献している事業者の活動を支援します。財団と連携し事業を実施する事業者に対して無償で施設を貸し出すとともに、当該スポーツ教室に通う市民等への補助金交付を行います。

6 三鷹市との共催事業（スポーツイベント事業）

(1) みたかスポーツフェスティバル

著名人による親子体操教室、ボッチャ体験会、パラスポーツ体験会や展示等を開催し、スポーツに親しむ機会の提供やSUBARU総合スポーツセンターの利用の促進を図ります。 1回

(2) 三鷹市民駅伝大会

市民スポーツの推進と交通安全、防犯、青少年の健全育成などの啓発を図り、明るく健康的な市民生活と活力に満ちたまちづくりに寄与します。また、関連事業として「ランニングのためのコンディショニング講座」、「子ども走り方教室」を開催します。 1回

(3) ボッチャみたかカップ

パラリンピックの正式種目でもあった「ボッチャ」を、幼児から大人まで、障がいの有無にかかわらず幅広い層で楽しみます。三鷹市と共催し、市内におけるボッチャの普及や多世代交流を進め、パラスポーツ及び障がいに対する理解を広める機会を提供します。 1回

(4) 東京ボッチャ選手権大会（兼関東選手権大会東京予選会）

東京ボッチャ協会及び三鷹市と共催し、障がい者スポーツの普及や魅力発信、インクルーシブな社会の実現を目指します。当該選手権は、令和4年度から毎年三鷹市で開催されている大会です。 1回

7 子どもの運動習慣定着事業

令和5年度から日本女子体育大学と連携し、子供の運動能力測定や親子対象の運動遊び体験などを実施しており、令和7年度はこれまでの運動能力測定の結果等を踏まえ「投げること」に特化した事業を実施しました。令和8年度も三鷹市の子供が苦手とする分野を分析した上で基礎的動作の習得を目指す事業を実施します。 2回

指定管理事業（5事業）

1 障がい者スポーツ教室事業

(1) 障がい児サッカー教室

支援が必要な未就学児と小学生等を対象に、スポーツのきっかけづくりとなる初心者向けのサッカー教室を開催します。 2回

2 種目別個人開放事業

少人数でもスポーツを楽しむことができるよう、個人を対象とした種目別の施設開放を行い、SUBARU総合スポーツセンターの利用の促進を図ります。

- | | |
|------------|--------|
| ① 卓球 | 週1日～2日 |
| ② バドミントン | 週1日～2日 |
| ③ ヨガ、ストレッチ | 週1日～2日 |
| ④ バスケットボール | 週1日～2日 |
| ⑤ ボルダリング | 週1日～2日 |

3 スポーツボランティア支援事業

(1) 熱中症対応講習会

スポーツ大会などのイベント開催時の熱中症予防策や発症した方に対する適切な対処法を学ぶ講習会を実施します。 2回

(2) 普通救命講習会

スポーツ大会などのイベント開催時に事故などが発生したとき、救急隊員が到着するまでの間にとるべき適切な対応を学ぶ講習会を実施します。 2回

(3) 障がい者支援スキル講習会

障がいのある方が、スポーツ大会などのイベントに安心して参加することを支援するために、必要な知識やスキルを学ぶ講習会を開催します。 1回

4 弓道・アーチェリー講習会事業

(1) 弓道初心者・初級者講習会及び技量認定会

弓道未経験者や初心者、一定の技量を持つ初級者を対象として講習会を開催します。また、技量認定会において個人・団体利用時に必要となる技量の認定と施設使用のためのオリエンテーションを実施します。 72回（月6回）

(2) アーチェリー初心者・初級者講習会及び技量認定会

アーチェリー未経験者や初心者、一定の技量を持つ初級者を対象として講習会を開催します。また、技量認定会において個人・団体利用時に必要となる技量の認定と施設使用のためのオリエンテーションを実施します。 72回（月6回）

5 スケートボードエリア利用者講習会事業 新規 ★3

近年オリンピックで盛り上がりのあるスケートボード競技の普及を目的として大沢総合グラウンドに新たに設置されたスケートボードエリアを利用する方を対象に、施設使用のためのオリエンテーションや滑走の基本的スキルの習得に向けた利用者講習会を実施します。

受託事業（1事業）※三鷹市からの受託事業

1 三鷹市総合保健センターとの連携事業

(1) 体成分測定と簡単運動教室（特定健診受診促進事業）

特定健診を断続的に受診している方を対象として、体成分測定による詳しい診査結果の説明を行い、生活習慣病予防・改善を目指した簡単運動教室を開催します。 4回

(2) 特定健診フォローアップ教室

特定健診を受診した方のうち、診査結果が一定の値を超えた方を対象として、3か月コース（月1回）の運動教室を開催します。1か月目と3か月目に体成分測定を行い、運動効果を実感することにより、生活習慣病予防・改善のための運動習慣を身に付けることを目的としたフォローアップ教室を開催します。 2回

スポーツ事業合計 13 事業（令和7年度比増減なし）

芸術文化事業

音楽部門

<令和8年度の特徴>

- ★1 若手からベテランまで多彩な国内外の一流アーティストを迎え、古楽器演奏やジャズ、北欧の伝統音楽など幅広いジャンルの音楽をお届けします。関連講座や公開リハーサルも積極的に実施するなど、聴き手が音楽の魅力に一層深く触れる機会を提供し更なる創客を図るとともに、次世代の演奏家や公演の担い手の人材育成にも繋げていきます。
- ★2 みたかジュニア・オーケストラは、前回好評だった国際基督教大学（ICU）礼拝堂でのコンサートを同大学出身のハーピスト吉野直子をゲストに迎えて再演します。令和7年度から新しい指揮者を迎え、合奏の基礎を改めて見直した成果を発揮します。

自主事業（17事業）

1 鑑賞事業（14事業）

(1) トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア



沼尻竜典



©Yusuke Takamura

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア

芸術文化センター風のホールを活動拠点とする室内オーケストラ、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニアの定期演奏会を2公演開催します。同楽団の音楽監督は、びわ湖ホール桂冠芸術監督で、神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督も務めている三鷹市出身の三鷹市名誉市民、沼尻竜典です。

各公演とも公開リハーサルを行うほか、沼尻竜典による市内小学校への訪問授業を実施します。 2公演（第93回定期演奏会・第94回定期演奏会）・3講座

(2) 川口成彦 フォルテピアノ・リサイタルーオール・ショパン・プログラムー

第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール第2位、ブルージュ国際古楽コンクール最高位の川口成彦が、風のホール4度目の登場。今回使用するのは、タカギクラヴィア所蔵で、ショパンが生きた時代に作られた1842年製プレイエルと1830年頃製ヨハン・クレマーの2台のピアノです。公演前日にはタカギクラヴィア代表・高木裕氏による関連講座も開催されます。 1公演1講座

(3) TRES (沖仁×大萩康司×小沼ようすけ) ★1

TRES (沖仁×大萩康司×小沼ようすけ) は、フラメンコ、クラシック、ジャズという異なるジャンルを代表する3人のギタリストが結集。トリオとしては今回が初登場となります。各々の専門性を融合し、3種のギターが織りなす多彩かつ高水準な音楽表現を披露。ジャンルを超えた音楽対話の場として注目される公演です。 1公演

(4) ドリーマーズ・サーカス ★1

北欧デンマークを拠点に活動するアコースティック・トリオ、ドリーマーズ・サーカスが初登場。伝統音楽を軸にクラシックやジャズを融合した革新的なサウンドを展開し、ゲーム音楽の第一人者・光田康典とのコラボレーションでも知られています。公演当日にはデンマーク文化に関するトークと楽器ワークショップも開催し、多角的に音楽と文化を体感できる一日を提供します。 1公演2講座

(5) パオロ・パンドルフォ&アメリ・シュマン (ヴィオラ・ダ・ガンバ・デュオ) ★1

巨匠ジョルディ・サヴァールの薫陶を受けたヴィオラ・ダ・ガンバの名匠、パオロ・パンドルフォとアメリ・シュマンによるデュオが三鷹に初めての登場です。ヴィオラ・ダ・ガンバは16~18世紀に盛んに用いられた低音弦楽器で、繊細な響きで音楽の旅を豊かに表現します。本公演では、後期ルネサンスから約2世紀にわたるイングランド、フランス、ドイツの作品が演奏されます。 1公演

(6) アマンディーヌ・ベイエ&リ・インコーニティー ヴィヴァルディ『四季』ー★1

フランス古楽界を代表するバロック・ヴァイオリン奏者アマンディーヌ・ベイエが、主宰するアンサンブル「リ・インコーニティ」とともに初登場。ヴィヴァルディ『四季』などを、歴史的奏法に基づき、繊細で躍動感ある演奏で披露します。両者は、作品への新たな視点や響きを追求する姿勢により、古楽の魅力をより深く引き出すアンサンブルとして高く評価されています。 1公演

(7) 上野耕平×山中惇史×石若駿 ★1

2024年に風のホール初登場を果たし、好評を博した上野耕平(サクソフォン)、山中惇史(ピアノ)、石若駿(パーカッション)によるトリオ公演のアンコール企画。三

者それぞれがクラシック、現代音楽、ジャズなど多様な分野で活躍しており、その融合による緻密かつダイナミックな音楽表現が高い評価を得ています。二度目の登場となる今回は、楽曲の委嘱や新たなアレンジ作品の制作も視野に入れ、前回公演からの発展性と本企画ならではの独自性を打ち出す内容となります。 1公演

(8) レ・ヴァン・フランセ

クラリネット奏者ポール・メイエを中心に結成されたレ・ヴァン・フランセは、木管アンサンブルの歴史を大きく変えたとされる世界的名門。全員がソリストとしても活躍するまさにドリーム・チームで、三鷹ではこれまでに9度の公演を重ねています。公開リハーサルも実施し、演奏創造の過程に触れられる機会を設けます。 1公演

(9) アンドレアス・シュタイアー チェンバロ・リサイタル

J.S. バッハ「ゴルトベルク変奏曲」 ★1

古楽界の巨匠アンドレアス・シュタイアーが三鷹に初登場。フォルテピアノとチェンバロ両方の分野で国際的に高く評価され、2024年にはバッハ・メダル（ライプツィヒ市）を受章。今回はJ.S. バッハ「ゴルトベルク変奏曲」をチェンバロで演奏し、深い解釈と洗練された技巧で名作の魅力を掘り下げます。 1公演

(10) 前橋汀子 ヴァイオリン・リサイタル

60年以上にわたり演奏活動を続ける、日本を代表するヴァイオリニスト前橋汀子。2025年4月には三鷹でもリサイタルを開催し、80歳を超えた現在も第一線で演奏を重ねています。豊かな音色と確かな技巧をもって紡がれる成熟した表現により、長年にわたり聴衆の信頼を集めてきた芸術家の演奏を引き続き紹介します。 1公演

(11) 中川優芽花 ピアノ・リサイタル

2022年クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクール優勝者で、世界的に注目される若手ピアニスト中川優芽花が、2025年12月に続いて再登場。更なる飛躍を感じさせる充実の演奏を披露します。 1公演

(12) 郷古廉（ヴァイオリン） & ホセ・ガヤルド（ピアノ） デュオ・リサイタル ★1

NHK交響楽団第1コンサートマスターでソリストとしても高い評価を受ける郷古廉が三鷹初登場。郷古は2013年ティボール・ヴァルガ国際コンクール優勝、2019年には出光音楽賞と文化庁芸術祭大賞を受賞。ピアニストのホセ・ガヤルドは三鷹2度目の出演。両者による繊細かつ情熱的な音楽の対話を楽しめます。 1公演

(13) 小曾根真 SOLO & DUO guest:壺阪健登

三鷹に5度目の登場となるジャズ・ピアニスト小曾根真のソロ演奏に加え、自身のプロジェクト「From OZONE till Dawn」に参加する若手ピアニスト壺阪健登をゲストに迎えたデュオも披露。ジャズとクラシックを自在に横断する両者の世代を超えた才能が交錯し、新たな響きを生み出す華麗なステージとなります。 1公演

(14) マルシン・ディラ ギター・リサイタル

ポーランド出身で、1996年から2007年にかけて国際コンクール19冠を達成し、「世界有数の才能あるギタリスト」と評されるマルシン・ディラが、2024年9月に続き三鷹に再登場。高度な技巧を自然な語り口で表現するその演奏を風のホールで堪能できる貴重な機会です。 1公演

2 教育普及事業（3事業）

(1) みたかジュニア・オーケストラ ★2



9月に国際基督教大学（ICU）礼拝堂でオータム・コンサート、3月に風のホールで恒例の演奏会を開催します。また、市内のコミュニティ・センター訪問

演奏会のほか、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア定期演奏会開演前のプレ・コンサート、山本有三記念館アフタヌーン・ミニコンサートなど、演奏機会の充実を図り、知名度アップに向けた取り組みを行います。令和7年度から新指揮者の御法川雄矢氏を迎え、月3回の練習と夏・春の強化練習では、合奏の基礎を学び、オーケストラを存分に味わうことができる環境を提供します。 6公演

(2) ファミリーコンサート

乳幼児のいるご家族を対象にしたコンサートを2公演実施します。「赤ちゃんからのクラシック」では、クラシックの名曲を中心に童謡やジブリ映画の曲、オペラやミュージカルの人気作品を織り交ぜた選曲を行います。「絵本と音楽のコンサート」では、星のホールで絵本の読み聞かせと音楽によるコンサートを実施します。 2公演

(3) 風のホールでピアノを弾こう

三鷹市民限定枠と一般枠に分けて、幅広い年齢層の方々に風のホールのスタインウェイ社製とベーゼンドルファー社製のフルコンサートグランドピアノを弾くことができる機会を提供します。 4講座

受託事業（1事業） ※三鷹市教育委員会からの受託事業

1 教育普及事業（1事業）

(1) 小学校訪問演奏事業

2005 年度から実施しており、プロの演奏家が小学校を訪問し、クラシック音楽の生演奏と小学生が楽器に触れ合う機会を提供します。 30 講座（1日2講座・15小学校）

音楽部門合計 18 事業（令和7年度比2事業増）

演劇部門

<令和8年度の特徴>

- ★1 令和8年度に生誕100年を迎える日本の映画人2人の特集を実施します。前半は三鷹のスクリーンでは初登場となる今村昌平監督、後半は、三鷹でもおなじみの女優・佐田啓二の名作特集となります。35mmフィルムによる上映で古き良き名画座の雰囲気をつくります。
- ★2 古くから伝わる人情噺や滑稽噺の魅力に触れていただこうと実施し、今や三鷹に定着した落語会。令和8年度は新たに古今亭文菊の独演会を加え、さらに充実したラインナップでお楽しみいただきます。

自主事業 (28 事業)

1 朗読事業 (1 事業)

(1) 「太宰を聴く」～太宰治朗読会～第25回

太宰治作品の朗読会を桜桃忌の時期に開催します。過去の公演はいずれも完売となっており、大変人気の高い事業です。出演者は、現在検討中です。 1公演

2 演劇事業 (4 事業)

(1) 劇団iaku

見事な会話劇で観客を魅了する「iaku」。誰もが一生懸命生きているのだが、ほんの瞬間の心の弱さゆえに、家族や友人、恋人同士の間を生じてしまった僅かな溝。その小さな溝を、人はどう見つめ、どう繕っていくのか。年配の方から若者まで、全ての世代の心に訴えかける、見応えのある人間ドラマです。 12公演



12公演『あたしは葉桜』2023年4月／星のホール

／写真：木村洋一

(2) MITAKA “Next” Selection 27th (若手劇団フェスティバル)

次の世代を担っていく若手劇団を集めて紹介する演劇フェスティバルの27回目です。出演した多くの劇団が、その後飛躍を遂げていることから、演劇界の登竜門として注目を集めています。演劇を楽しむ多くの市民の刺激となり、演劇の裾野が広がることを期待します。 12公演

(3) 劇団ぱぷりか

2018年MITAKA “Next” Selection19thに出演後、2021年に第66回岸田國士戯曲賞受賞を受賞。脚本と演出の力で、次世代を担う演劇人として注目される福名理穂率いる「劇団ぱぷりか」による公演です。 12公演

(4) 劇団城山羊の会

長きにわたり数多くの人気CMを手掛け、CMディレクターとして著名な山内健司。その山内が手掛ける演劇公演は、人間の生きた台詞を自然な形で舞台上に乗せていく、完成度の高い作品となっており、2015年には岸田國士戯曲賞を受賞しました。大人の会話をしっかりと描く、山内健司の新作公演です。 12公演

3 映画事業（1事業）

(1) CINEMA SPECIAL 生誕百年記念 今村昌平監督 俳優・佐田啓二作品特集 ★1

2026年に生誕百年を迎える2人の映画人、今村昌平監督と俳優・佐田啓二の特集を組みます。今村監督特集ではカンヌ国際映画祭の最高賞パルム・ドールを受賞した2作品を上映します。佐田啓二特集では、代表作「君の名は」三部作の一挙上映のほか、木下恵介監督や小津安二郎監督との名画を上映します。 15公演

4 落語・講談事業（21事業）

(1) 落語・講談（20事業） ★2

人気と実力を兼ね備えた魅力あふれる出演者をお迎えしての落語会や講談の会を、数多く開催します。

<出演予定>

柳家さん喬、柳家権太楼、柳亭市馬、立川志の輔、春風亭昇太、立川志らく、柳家花緑、林家たい平、柳家喬太郎、瀧川鯉昇、古今亭菊之丞、桃月庵白酒、三遊亭兼好、春風亭一之輔、古今亭文菊、神田伯山、桂宮治 ほか 30公演

(2) こども寄席「ぼくも、わたしも、寄席で大笑い その26」

こども寄席は、小学生に生の演芸の魅力を伝える「小学生以上の回」と、0歳児から入場可能のため子育て世代に大変好評な「未就学児の回」の2公演を開催。本年度は、柳家花緑が出演します。また、毎年大評判の「未就学児の回のお客様係を小学校4年生から6年生に担ってもらう体験講座」を引き続き実施します。 2公演1講座



柳家花緑 (C)馬場道浩



過去のお客様係体験講座風景

5 古典事業（1事業）

(1) 野村家・茂山家「東西狂言の会」

毎回完売するほどの好評を博している、野村万作・野村萬斎親子と関西狂言の茂山家との競演で贈る「東西狂言の会」を実施します。 1公演

6 教育普及事業

(1) こども寄席「ぼくも、わたしも、寄席で大笑い その26」関連講座 再掲

「未就学児の回のお客様係を小学校4年生から6年生に担ってもらう体験講座」

演劇部門合計 28 事業（令和7年度比 1 事業増）

美術部門

<令和8年度の特徴>

- ★1 物語のかけらを見つけに展では、絵本作家を含む現存作家3人の作品を展示します。子育て世代へのアプローチも展開し、作品を通して他者への理解を深める場を提供します。
- ★2 「路上」の日本画：ジミー・ツトム・ミリキタニのアート展では、「帰米」日系人、戦争、無国籍、路上生活などの切り口により、移民や多文化共生といった社会的な視点からアートの多様性に触れる機会を創出します。

自主事業（4事業）

1 展示事業（2事業）

(1) 物語のかけらを見つけに展 ★1

本展では絵本作家・酒井駒子、写真家・齋藤陽道、画家・成瀬麻紀子の3名の作家の作品を紹介します。

絵本『よるくま』、『ぼく おかあさんのこと...』などで知られる酒井駒子（1966-）。そこに描かれる静謐な空気感、小さな子供の姿、それらは見ている者の心を愛おしさで満たします。子供が母親を見つめるまなざし、孤独と寂しさにとらわれた時の迷いなど、言葉では表せない、幼い頃に誰もが抱いた感情を思い起こさせます。

写真家として活動する齋藤陽道（1983-）は、鋭く繊細な感性により日常の光景の中に潜む声を聞き取ります。「言葉」によって表現し得ない世界にあふれる「ことば」を見つけるために撮影された写真の数々には、強い生への希望と敬意が込められています。作品に対峙するとき、作品世界と自らの間に現れる差異と重なりに、私達はどのように向き合うのでしょうか。

画家の成瀬麻紀子（1974-）は自身が自由になるために、そして他者を幸せにすることを祈りながら作品を描いています。自らの心の深淵を見つめながら制作をする成瀬の作品には、優しさや温かさと同時に、心のなかに潜む不安や寂しさまでもが映し出されているかのようです。

本展では、現在も精力的に活動する3名の作家の作品を通して、自らの心境や他者への理解を深める機会を来館者に提供していきます。

あわせて、関連講演会及び関連ワークショップを開催します。 1 展示・2 講座

(2) 「路上」の日本画：ジミー・ツトム・ミリキタニのアート展（仮称） ★2

ジミー・ツトム・ミリキタニ（三力谷）は、1920年カリフォルニア州サクラメント市で生まれ、物心がつく前に日本人移民の両親に従い彼等の故郷である広島に戻ります。20年近くの間日本で過ごし、青年期には国内で日本画を学んでいます。1940年前後には日本を出てアメリカへ帰国、いわゆる「帰米」日系二世アメリカ人となります。第二次大戦中には、ツールレイク強制収容所に収監され、「敵性外国人」としてアメリカの市民権をはく奪されます。さらに、日本の故郷である広島への原爆投下により同地の親戚や友人を失います。こうした戦争体験を深く抱え込んだミリキタニは、戦後もアメリカの市民権を再取得しないままニューヨークで住み込みのシェフなどにより生計を立てていましたが、1986年に職を失い路上生活者となります。

路上を自身の「アトリエ」とし、通行人から提供された画材やストリートに転がる素材を用いて、自身の戦争体験やアーティストとしての活動を意欲的に訴えました。2001年の「9・11テロ」をきっかけに高齢者向けアパートに移った後も、路上で習得したスタイルや制作方法を用いて自らのストーリーを語り続けました。こうしたミリキタニの人生は、ドキュメンタリー映画『ミリキタニの猫』（監督：リンダ・ハッテンドーフ、2006年）を機に世間に知られるようになりました。

本展覧会は、初期の日本画から路上で制作された絵画、そして晩年に量産されたコラージュまで、ミリキタニ作品を幅広く展示します。なかでもミリキタニがニューヨークの路上で、何をどのように伝えようとしたのか、その語りの手法に特に注目します。路上から拾い上げられた素材と日本画の伝統、そしてニューヨークの人々の声が複雑に混在し、その表現は特定の国、民族、社会グループには簡単に分類され得ないものとなっています。また、日本ではほとんど顧みられることのない「帰米」日系人や「無国籍者」によるアートにも注目を促すきっかけとなるでしょう。

あわせて、関連講演会及び関連ワークショップを開催します。 1展示・2講座

2 教育普及事業（1事業）

- (1) 物語のかけらを見つけに展関連講演会・関連ワークショップ **再掲**
- (2) 「路上」の日本画：ジミー・ツトム・ミリキタニのアート展（仮称） 関連講演会・関連ワークショップ **再掲**
- (3) 美術ワークショップ
「こどもアートクラブ」 1講座

受託事業（1事業）※三鷹市からの受託事業

1 展示事業（1事業）

(1) アール・ブリュットみたか2026

共生社会の推進と多様な芸術文化に触れられる機会の提供を行うため、アール・ブリュットみたか2026を開催します。障がいの有無等にかかわらず、様々な個性を持つ作り手の作品を、美術ギャラリーや桜井浜江記念市民ギャラリー等で展示する予定です。

本事業は、令和6年度から芸術文化活動事業として、財団と三鷹市が連携し、アール・ブリュット連携協議会の主管で実施しています。財団は事務局機能を受託します。

美術部門合計4事業（令和7年度比増減なし）

文芸部門

<令和8年度の特徴>

- ★1 令和8年度が山本有三記念館の開館30周年であり、吉村昭の没後20年及び太宰治賞受賞60年にあたることから、各施設において、記念の年にふさわしい企画展示やイベントを実施します。
- ★2 大人から子供までの幅広い世代に、三鷹ゆかりの文学者に親しみを感じてもらうため、山本有三記念館における子供向けイベントや吉村昭の趣味にちなんだ落語会を実施します。
- ★3 太宰治顕彰事業では、桜桃忌の特別企画や、三鷹市所蔵の直筆資料を活用した五所川原市の太宰治関連施設との連携展示を開催します。

自主事業（みたか井心亭文化事業・3事業）

1 教育普及事業（3事業）

(1) 茶道体験教室

みたか井心亭で茶会を開催している三鷹市茶道連盟と連携してお茶を点（た）てる等の茶道の基本的な作法を体験する講座です。 6講座

(2) 井心亭でお茶をたのしむ会

炉と風炉の切り替え時期に合わせ、季節の風情、移り変わりを楽しむ茶会を開催し、井心亭の魅力を発信します。 3講座

(3) 華道体験教室

みたか井心亭の迎え花の生け込みを委託している三鷹市華道連盟と連携して生け花の基本形を学び、伝統文化への理解を深めます。 4講座



指定管理事業①（山本有三顕彰事業・13事業）

1 展示事業（4事業）

(1) 企画展① 戯曲から小説へ—越境する有三文学を読む—（仮称）

劇作家及び小説家として、戯曲と小説を並行して執筆し、両分野に代表作を持つ有三作品の特性と、その魅力について紹介します。 1展示

(2) 企画展② 三鷹市山本有三記念館開館 30 周年 建物の記録と記憶—100 年の時を経て— (仮称) ★1

三鷹市山本有三記念館の開館 30 周年及び大正 15 年の登記から 100 年を記念し、登記簿の記録や関係者の記憶を読み解きながら三鷹の地に建つ洋館の履歴を解説します。

1 展示

(3) 企画展③ 山本有三生誕 140 年 有三文学の胎動—第三次「新思潮」から戯曲「津村教授」まで— (仮称)

令和 9 年が山本有三の生誕 140 年であることを記念し、有三文学の土台が築かれた大正時代初期の作品群を取り上げ、若き日の山本有三の創作に注目します。 1 展示

(4) 復刊本製作事業

山本有三記念館文庫として復刊している文庫本『波』の再版に取り組みます。

2 教育普及事業 (9 事業)

(1) ガイドボランティア事業

山本有三の生涯や作品、文化財である建物について来館者の理解を深めるため、登録ボランティアによるガイドを実施します。また、ガイドのスキル向上・維持のための見学会及び研修会を行います。 2 講座

(2) 春の朗読コンサート

大正末期の建物の風情を生かし、山本有三作品の朗読と作品の雰囲気合わせた楽器とのコラボレーションが楽しめる朗読コンサートを 2 夜連続で実施します。 2 公演



(3) 秋の朗読会

山本有三記念館開館記念日であり、山本有三が制定に携わった「文化の日」でもある 11 月 3 日に、山本有三の暮らした洋館で、作品の朗読会を実施します。 1 公演

(4) 夏休み子どもワークショップ「筆文字で旧字に挑戦！オリジナルうちわを作ってみよう！」 (仮称) ★2

夏休み中の小学生を対象に、現代かなづかいの制定に携わった山本有三にちなみ、新字と旧字を筆文字で書くワークショップを実施します。 1 講座

(5) 子ども向け解説「山本有三ってどんなひと？—洋館を探検しながら、山本有三を知ろう—」 ★2

夏休み中の小学生を対象に、山本有三や山本有三記念館について理解を深めることのできる解説を記念館職員が実施します。解説にあたっては、子供向けのわかりやすい内容の解説シートを作成し、配布します。 2講座

(6) 山本有三記念館スケッチコンテスト・秋の野外スケッチ会

山本有三記念館の建物としての魅力と「文化の薫り高い三鷹」を広く発信するため、記念館や有三記念公園を描いたスケッチ作品を公募し、コンテストを実施します。また、出品予定者を対象とした「秋の野外スケッチ会」を開催します。 1展示・1講座

(7) おはなし会 ★2

ミタカ少国民文庫を開設するなど、子供たちの読書環境の充実に尽力した山本有三の意志を継承したおはなし会（未就学児を対象とした通常の「おはなし会」9回と、小学生を対象とした「夏のこわ〜いおはなし会」1回）を実施します。「おはなし会」ではスタンプカードを活用し、リピーターの獲得を目指します。 10講座

(8) アフタヌーン・ミニコンサート

山本有三記念館の施設の周知と来館者の増加を目指し、来館していただくきっかけづくりとして、週末にミニコンサートを開催します。 3公演

(9) 企画展② 三鷹市山本有三記念館開館30周年 建物の記録と記憶—100年の時を経て—（仮称）関連講演会 再掲

企画展に関連したテーマで講演会を開催し、企画展への興味関心を高めます。1講座

指定管理事業②（吉村昭顕彰事業・7事業）

1 展示事業（2事業）

(1) 企画展示① 「没後20年・太宰治賞受賞60年 三鷹の作家・吉村昭と田野畑村」（仮） ★1

吉村昭の太宰治賞受賞作「星への旅」の舞台となった岩手県の田野畑村に関連する企画展示。「星への旅」初出誌や鶺の巣断崖にある文学碑などを紹介します。また、吉村昭「三陸海岸大津波」や「梅の蕾」、津村節子「さい果て」「三陸の海」など、作家としてのみならず、家族にとっても大事な地域だった三陸海岸について、直筆原稿や取材ノート等の資料とともに紹介します。 1展示

(2) 企画展示② 「生誕100年 吉村昭と三鷹」 (仮)

吉村昭の生誕100年を迎えるにあたり、吉村昭の人となりを紹介する企画展示。令和7年度に購入した「凧」の直筆原稿の初公開をはじめ「少年の島」など三鷹市・財団所蔵の資料を紹介します。 1展示



2 教育普及事業 (5事業)

(1) 朗読会 (交流棟活用)

三鷹市吉村昭書斎交流棟にて、朗読家・俳優・アナウンサーなどを招いて、吉村・津村作品に親しむ朗読会を実施します。 2公演

(2) 落語会 (交流棟活用) **新規** ★2

吉村昭の趣味のひとつだった落語鑑賞を広めるため、井の頭在住の落語家・柳家花いちによる、吉村の好きだった古典落語に親しむ会を実施します。 1公演

(3) 講演会

井の頭コミュニティ・センターや三鷹駅前施設にて、吉村昭の関係者や出版・編集関係者、作品研究者、作家などを講師に招いて、吉村昭の人柄や作品に親しむ講演会を実施します。 1講座

(4) 地域連携事業

井の頭コミュニティ・センターや井の頭地区公会堂にて、「三鷹市吉村昭書斎」を紹介し、地域の方を中心とした多くの市民に吉村昭・津村節子の作品の魅力を発信します。 1展示

(5) ガイドボランティア事業

吉村昭・津村節子の生涯や作品、移築した書斎について、来館者により深く理解してもらうため、登録ボランティアによるガイドを実施します。また、吉村昭の命日に実施する特別イベント「悠遠忌」では、来館者とのコミュニケーションを図り、書斎案内の充実を目指します。 1講座

受託事業①（吉村昭顕彰事業・1事業） ※三鷹市からの受託事業

1 教育普及事業（1事業）

(1) 田野畑村ツアー事業 新規 ★1

田野畑村には吉村昭文学碑・津村節子詩碑があり、吉村夫妻は田野畑村名誉村民です。ゆかりの吉村作品は、第2回太宰治賞受賞の「星への旅」や「海の奇蹟」、「三陸海岸大津波」等で、津村作品は「三陸の海」。これらの作品や人柄をより身近に感じられるツアーを実施します。 1講座

受託事業②（太宰治顕彰事業・6事業） ※三鷹市からの受託事業

1 展示事業（3事業）

(1) 企画展示① 太宰治 署名本の魅力（仮）（太宰治展示室）

太宰治の署名本の魅力に迫る企画展示。初の創作集『晩年』から終戦後にベストセラーになった『斜陽』に至るまでの、初版本収集家のコレクションを一堂に公開します。一般の読者でも入手可能で一番身近な資料といえる初版本の魅力、さらには、太宰が思い入れのある人物に対して識語入りで贈った署名本によって、太宰治の独創性や人となり、単行本刊行についての経緯などを紹介します。 1展示

(2) 企画展示② 太宰治展示室・太宰治疎開の家・太宰治「思ひ出」の蔵 連携企画 太宰治の「帰去来」展―戦時、戦後の疎開（仮）（太宰治展示室） ★3

太宰治が郷里で疎開中に脱稿し、三鷹に戻る直前に発表した「雀」の直筆原稿が三鷹市所蔵となったことから、太宰治の疎開生活中における創作活動に注目します。書きあげるまでに思いの外苦戦した数少ない戯曲、太宰治を流行作家に押し上げた「斜陽」の発表に至るまでを、Ⅰ期・戦時編、Ⅱ期・戦後編の二期制で紹介します。太宰治が疎開中に滞在し、現在も施設として青森県五所川原市に残る「太宰治疎開の家」と「太宰治「思ひ出」の蔵」との3館連携企画とします。 1展示

(3) ブックカフェ機能を有する太宰治文学サロンの運営（太宰治文学サロン）

市の寄託資料「山内祥史文庫」から研究書を開架し、太宰治に特化した読書スペースを提供します。また、太宰珈琲や太宰クッキーなどの市内業者が製造した食品を扱うことでブックカフェ機能を継続し、来館者とガイドボランティアの情報交流の場とします。引き続き、来館者の要望に応じた駅前周辺の太宰治ゆかりの地への案内を実施し、来館者満足度の維持に努めます。 1展示

2 教育普及事業（3事業）

(1) 太宰治作品朗読会（太宰治文学サロン）

朗読家・俳優・アナウンサーなど多彩な出演者を招いて、月例の太宰治作品朗読会を実施します。 12公演



(2) ガイドボランティア事業（太宰治文学サロン）

みたか観光ガイド協会と協働で、来館者（個人・団体）に、太宰治文学サロンの展示や三鷹駅周辺及び近隣にある太宰ゆかりの地を案内し、他団体からのまち歩き事業の講座依頼も請け負います。太宰治展示室（美術ギャラリー）への誘導を促し、2館の回遊性を高めます。また、ボランティア養成講座を開催し、ボランティアの増員と育成に取り組めます。 2講座

(3) みたか太宰治作品倶楽部（太宰治展示室）

指定の太宰作品を事前に読んだ参加者が集まって作品の感想を自由に述べ合い、太宰文学の新たな魅力を発掘する読書会を実施します。太宰と弟子が書斎で文芸談義を交わした当時を疑似体験できる、三鷹ならではの企画です。 1講座

(4) 企画展示① 太宰治 署名本の魅力（仮）関連特別講演会 **再掲**

企画展示①資料提供者で監修の川島幸希氏による講演会。日本近代文学における署名本の特性と魅力、太宰治の署名本についての真贋や、入手するまでの経緯などについて、資料収集の専門家しか語ることはできない特別講演。桜桃忌に三鷹ネットワーク大学で開催します。 1講座

文芸部門合計 30 事業（令和7年度比7事業増）

その他芸術文化部門

<令和8年度の特徴>

- ★1 3年間にわたり開催した桜井浜江の前期から後期までの作品展で節目を迎えた三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリーにおいては、三鷹市在住の作家等の作品を紹介する企画展を開催します。

自主事業（2事業）

1 教育普及事業（2事業）

(1) 三鷹市芸術文化センター全部見てくださいツアー

芸術文化センターを身近に感じるきっかけづくりのためのバックステージツアーです。星のホールの客席が反転する様子や、風のホールのピアノの音の聞き比べ、音楽練習室や美術創作室の見学など、芸術文化センターを全て見ていただきます。 2講座



(2) 三鷹市公会堂探検ツアー

公会堂を身近に感じ、舞台の仕事に興味を持つきっかけづくりのためのバックステージツアーです。普段見ることのない舞台裏を見学し、ピンスポットライト、影マイクにも挑戦します。また、参加者が照明卓を操作し、テーマに合った色やモチーフを使用した照明を作る体験コーナーもあります。 3講座



指定管理事業（1事業）

1 展示事業（1事業）

(1) 桜井浜江企画展事業 ★1

三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリーにおいて、令和7年度に好評であった三鷹市在住の日本画家、米谷清和の小作品展（仮称）等を開催します。 2展示

その他芸術文化部門合計3事業（令和7年度比増減なし）

生涯学習事業

<令和8年度の特徴>

- ★1 生涯学習センターの利用者層の拡充を図るとともに生涯学習講座事業を活用した元気創造プラザ内における融合事業を推進します。
- ★2 多くの市民に対して学習機会の提供を図るため、定員を上回る申込みのあった講座について、実施方法の見直しを検討します。

自主事業（7事業）

1 生涯学習講座事業 ★1

市民自らがそのライフスタイルやライフステージに沿った学びを通じて、豊かな心を育み、またその学んだことを地域に返し、生かしていく「学びと活動の循環」や、人とのつながりを醸成するため、地域学や趣味・教養などの講座を開催します。

- ① みたか学（「SUBARU 星空観望会～SUBARUの中心ですばるを観よう！」や「三鷹まるごと博物館」と連携した講座等の実施） 3 講座
- ② 芸術文化講座 1 講座
- ③ 人財養成講座（古文書、花壇サポーター養成） 2 講座
- ④ 元気創造プラザ連携講座（健康推進課、社会福祉協議会との連携） 2 講座
- ⑤ 趣味・教養講座 10 講座

2 小・中学生向け講座事業

小・中学生が、好奇心や興味を高める体験型の講座を開催します。

- ① 陶芸講座 1 講座
- ② 三鷹市芸術文化協会連携講座 1 講座
- ③ ネーミングライツ企業連携講座 1 講座
・ラジオ工作教室（協力：日本無線株式会社）
- ④ 市民大学ジュニアキャンパス 1 講座
- ⑤ 文化・教養講座 2 講座



「ジュニアキャンパス プレゼンの達人」

3 生涯学習センターフェスティバル開催事業

様々な生涯学習活動の紹介、発表の場の提供、ワークショップ（体験）などを通して、来場者に生涯学習の楽しさを伝え、学習への興味・関心を高める機会を提供します。また、生涯学習グループの活動内容や生涯学習センター主催事業を周知することにより、グループの活性化や生涯学習センターの利用促進を図ります。 2日間

4 夏休み自主学習スペース開放事業

学校の夏休み期間に合わせ、生涯学習センターの学習室を自主学習スペースとして開放し、若い世代の生涯学習センターの利用を促進します。

(期 間) 7月20日から8月31日まで

(開放時間) 午前9時から午後9時まで

5 学習スペース開放事業

個人の学習スペースを毎日開放します。

(開放時間) 平日は午後3時45分から午後9時まで

土日・祝日は午前9時から午後9時まで

※夏休み自主学習スペース開放事業の実施期間中は、実施しません。

6 子どもふらっとプレイス事業

小中学生対象の放課後の居場所づくりと多世代交流を目的とした、子どもふらっとプレイス事業を実施します。子供たちが気軽に遊び感覚でふらっと立ち寄り楽しめる体験プログラムとフリースペース(ゲームで遊ぼう)を月1回(8月を除く)水曜日の午後3時から5時まで実施します。

7 三鷹市芸術文化協会事務局事務事業

三鷹市芸術文化協会事務局の事務を行います。

指定管理事業(2事業)

1 市民大学事業

(1) 総合コース ★2

「学習の主体は市民にある」という理念の下、市民自らが主体となって地域課題や生活に根差した学習課題などを話し合い、講座を企画・運営します。ゼミナール形式で1年間継続して学習生同士が議論し合い、その学びの成果を地域や生活の場に生かす発表の機会を提供します。また、公開講座等の実施により、多くの市民に学習機会を提供するとともに、定員を上回る申込みのあったコースについて、落選者に対して、一部を対面又はオンラインで受講できるようにします。

5講座(各30回)

(2) 市民講師養成コース

生涯学習の推進役として自らが生涯学習を通じて学んだことを地域に還元する市民講師を養成します。

① 市民講師養成講座 1講座(全6回)

② 市民講師デビュー講座 3講座(各1回)

(3) 一般教養コース

講義を中心に、基礎的な知識・教養を習得し、自分の生活課題と社会的問題を結び付ける視点を身に付け、地域社会における自分の生き方を探る機会を提供します。

- ① むらさき学苑（60歳以上対象） 1 講座（全30回）
- ② 子育て講座 2 講座（各5回）



「子育て講座」

2 生涯学習相談事業

生涯学習相談員を中心に、市民や学習グループが持つ様々な要望や悩みに対してサポートします。また、市及び関係団体との連携を通じて市民の学びと活動を支援するコーディネート機能の向上を図ります。毎週火曜日～土曜日

生涯学習事業合計9事業（令和7年度比1事業減）

広報宣伝・友の会運営・物品販売事業

<令和8年度の特徴>

- ★1 情報誌（MARCL+）及び広報紙（Mitaka Sports and Culture News）において、QRコードを活用し、財団ホームページへのアクセス効果を高め、引き続き財団事業のPRに努めます。
- ★2 三鷹市山本有三記念館の総合的な解説書「解説 山本有三記念館」を改訂し再版します。また、来館者の満足度を高めるため、太宰治関連グッズを新規作成します。

QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

自主事業

1 広報宣伝事業

- ① 情報誌（MARCL+）の発行（7,000部 年6回発行）
スポーツ・芸術文化・生涯学習の事業を掲載した冊子の発行。出演者のインタビュー等も取り入れ、魅力的な誌面を提供します。 ★1
- ② 広報紙（Mitaka Sports and Culture News）の発行（160,000部 年6回発行）
市内全戸配付・近隣市区新聞折り込みにより、財団の事業を広報します。 ★1
- ③ 小田急バス（武蔵境及び吉祥寺営業所管内全バス）車内中吊りポスターの掲出
- ④ 財団ホームページやX（旧ツイッター）、メールマガジンを活用した事業のPR
- ⑤ 出演者インタビュー・担当者による事業紹介動画を財団ホームページ上で配信
- ⑥ 三鷹市報への事業掲載、プレスリリースほか

2 友の会運営事業

会員の新規募集及び管理運営（個人会員約3,700人、グループ会員4団体）

3 物品販売事業 ★2

- ① 財団オリジナル商品の販売及び山本有三・太宰治等に関連した商品の受託販売
- ② 山本有三の活動や記念館の変遷の歴史を紹介する解説書「解説 山本有三記念館」及び復刊文庫本「波」の再版、太宰治グッズ（メモ帳）の新規作成

施設管理・全館融合事業

＜令和8年度の特徴＞

- ★1 令和7年度末頃に三鷹市大沢総合グラウンド内に設置予定のスケートボードエリア等の安全な施設運営に努めます。
- ★2 三鷹中央防災公園元気創造プラザの魅力をも市民の皆様にご案内いただき、一体的な施設運営を図ることを目的として、全館融合業務を実施します。

指定管理事業（14事業）

三鷹市が設置した下記施設のそれぞれの条例、条例施行規則等に基づき、指定管理者として、利用者の安全性の向上を図るために施設、設備の適切な維持管理に努めるとともに、利用者サービスの向上に持続的に取り組みます。

指定管理施設	指定管理期間
三鷹市芸術文化センター	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（5年間）
三鷹市公会堂	
三鷹市美術ギャラリー	
みたか井心亭	
三鷹市山本有三記念館	
三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリー	
三鷹市吉村昭書齋	令和8年4月1日から令和11年3月31日まで（3年間）
SUBARU 総合スポーツセンター *1	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで（5年間）
三鷹市新川テニスコート	
三鷹市大沢総合グラウンド ★1	
三鷹市生涯学習センター	
三鷹中央防災公園	令和5年2月1日から令和9年3月31日まで（4年2か月間）
三鷹市大沢野川グラウンド	
三鷹市井口グラウンド	令和7年4月1日から令和9年3月31日まで（2年間）

*1 SUBARU 総合スポーツセンターは、弓道場・アーチェリー場を含む。

受託事業（2事業） ※三鷹市からの受託事業

1 太宰治文学サロン管理運営業務 再掲

太宰治を通じ多くの市民が訪れ、交流できる拠点として運営します。

2 太宰治展示室管理運営業務 再掲

太宰治の自宅の一部を再現したスペースにおいて、様々な資料の展示を行うなど太宰治を顕彰する拠点として運営します。

3 元気創造プラザ施設管理業務

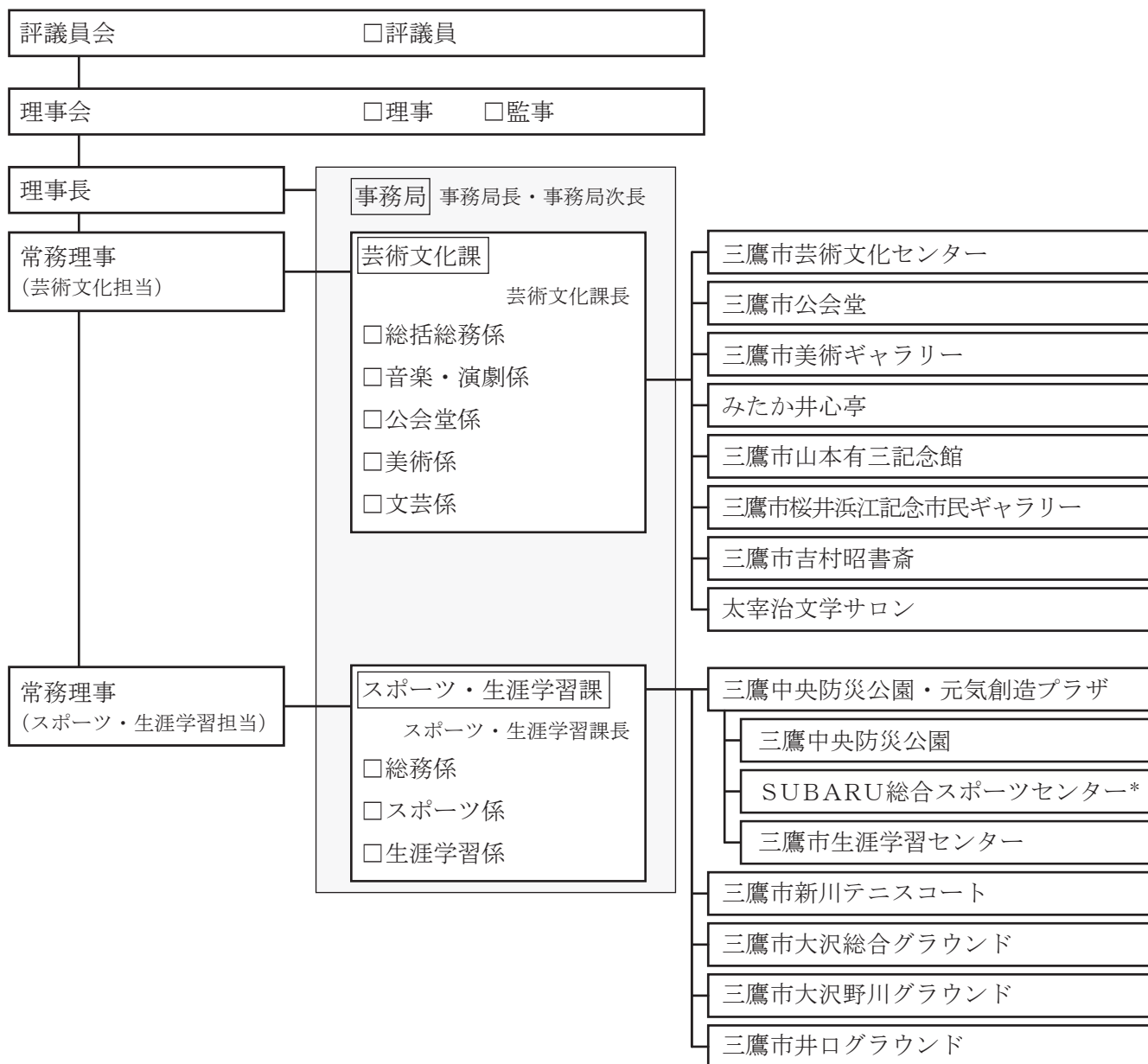
元気創造プラザの三鷹市直営施設部分及び共有部分の管理業務（設備管理業務、清掃業務、受付案内業務等）について効率的な管理運営を行います。

4 元気創造プラザ全館融合業務 ★2

元気創造プラザ全体として組織を超えた一体的な施設運営により、市民の居心地の良い居場所づくりを目指す全館融合イベントを開催します。

受託業務	受託期間
太宰治文学サロン管理運営業務 再掲	令和8年4月1日から令和9年3月31日まで（1年間） （予定）
太宰治展示室管理運営業務 再掲	
元気創造プラザ施設管理業務	
元気創造プラザ全館融合業務	

公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団組織図



* SUBARU総合スポーツセンターは、
弓道場・アーチェリー場を含む。